

西中の風

伊丹市立西中学校長
豊田 實

学校評議員・関係者評価委員会開催

3月21日、本年度の学校関係者の評価について協議していただきました。教職員、生徒、保護者の学校診断票の分析を資料とし、また、1年を通じて行事やオープンスクール(授業参観日)で来校した際の感想も大切な話し合いの要件となりました。

出席委員は次の方です。
関灘氏、武田氏、梅本氏、山口氏、八渡氏
豊田校長、大西教頭

考察する内容を深めるために、評価総括表11項目の中から次の3項目を選び話し合いました。

- 1 生徒指導について
- 2 進路指導について
- 3 保護者、地域との連携について

提供いただいた意見について一部紹介します。

【生徒指導】

- ・近日では、厳粛な卒業式から感じられるように生徒たちへのよい指導で、高い成果を上げられている。
- ・教師と生徒の信頼関係のもとカウンセリングマインドは大切である。保護者との連携は欠かせない。
- ・一部反発する行動、異装等を行う生徒にPTAが協力、対応できることは何かを考えたい。
- ・生徒理解について適宜、専門家の意見を取り入れて教員が所謂通常の教育活動に専念できるよう配慮する必要がある。
- ・生徒指導活動はすべての生徒への関わりである。

【進路指導】

- ・カリキュラムは早めに進めることが望ましくやり残しの無いように配慮しなければならない。
- ・1、2年対象の進路説明会は、それぞれの学年にふさわしい内容を提供することが望まれる。
- ・職業観を培う手だてとして、生徒同士の仕事に対する興味関心を出し合うことも効果がある。
- ・公立高校学区拡大も3年後、現小学6年生の高校進学時から予定されている。関連する進路情報も大切である。

【保護者・地域との連携】

- ・ボイ捨て防止運動、納涼ふれあい夏祭りに生徒たちが運営にも参加していることはすばらしい。地域住民が連携の大切さを認め合える活動となっている。生徒たち本人が保護者、地域、学校の連携において情報発信源となっている。
- ・交通安全教室(自転車事故防止)は校外生活上を鑑

みると重要である。

・多くの人の価値観は多様である。地域、保護者との連携は永遠の課題という側面を捉えながら生徒たちのために進めなければならない。

学校評価検討協議のようす 2012.3.21



校内では早咲きの桜が開花！
～来校の際には一足先に観花の楽しみを～



正門付近の桜の蕾もごらん
のとおり膨らんでいます(3/22撮影)